

# 2024年度事業報告

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

2024年度は、「第2期パラ水泳中・長期計画（2024-2032）——水でつながり、世界が広がる——」を進めて行く初年度であった。この中・長期計画 については、東京2020パラリンピックのレガシーの浸透を目指し、『パラ水泳を「する」「見る」「支える」多様な人々が輝く社会を実現する』ことをミッションとした計画であり、2020年からのコロナ禍による会員数の減少対策、東京パラ大会から3年で開催されるパリ2024パラリンピック勝利計画、地域大会の活性化や日本大会の充実、そしてアジアのパラ水泳先進国として世界パラ水泳連盟主催のワールドシリーズの開催準備に全力を注いだ。

会員の減少対策として、地域で楽しく参加できる記録会の開催とそれを通信記録会としてポイント制で全国ランキングを出して表彰するという取り組みや、地域を対象とした選手発掘のためのジュニアキャンプなどを実施した。これらの事業について、参加者は一定数いたものの、会員増にはつながっていない。改めて、原因を調査する必要がある。

パリ2024パラリンピックにおいては、東京を上回るメダルランキングと成果をあげた。これは、東京2020パラからの継続したNTC-Eにおける強化の成果である。

大会運営においても、アスリート委員会による競技解説やお楽しみイベントなど工夫がなされ、日本パラ水泳選手権大会では、2025年度に全国障害者スポーツ大会が開催される滋賀県草津の新設プールということもあって、多くの会員が競技を楽しんだ。なお、国内の大会では、関東圏を中心に当連盟主催ではない横浜のインクルーシブ大会や鈴木孝幸選手杯等、様々な試みが出てきており、新たな大会への試行錯誤が始まっている。

2025年4月10日～12日開催の「ワールドシリーズ富士・静岡2025」についての準備を進めた。進めるにあたっては、「シンガポールワールドシリーズ2024」に事前調査に行くとともに、テストイベントを実施した他、世界パラ水泳とのミーティング、毎月の連盟関係者ミーティング、開催地の静岡県知事、富士市長への表敬訪問と関係者への働きかけ、地元協賛企業募集などを実施、成功に向けての取り組みを進めた。また、ワールドシリーズ開催の関係から毎年3月に開催していた「春季チャレンジレース」は2025年4月ワールドシリーズ後に開催することとした。

連盟を取り巻く環境としては、日本パラリンピック委員会助成、専任スタッフ助成について、大幅に減少、強化事業など大幅な見直しを余儀なくされた他、オフィシャルパートナー1社の減、日本財団パラサポ助成など事業採択の減、適用範囲の制限があるなど、増々厳しい状況となった。この対策として、各種民間基金の助成獲得など対策を行い一定の財源を確保した。しかし、ワールドシリーズの準備経費やインバウンドに伴う宿泊費の高騰、円安による遠征費用の増大などが及ぼす影響は大きく、一般正味財産増減額は昨年度から一転して赤字を余儀なくされた年度であった。

以下2024年度に実施した主な事業について報告する。

第2期中・長期計画（2024-2032）のアクションプランに基づいて事業に取り組んだ。

アクションプランにおける「1. トビウオパラジャパン PIVI 強化・育成・発掘」の分野では、2028年・2032年に向けての強化戦略プランに基づいて事業を実施した。

戦略プランでは、パリ2024パラリンピックでメダリスト6人、金を含むメダル8個のメダル獲得を目指した。そのため、選手のクラス確定の遠征、パリの環境に慣れるための事前合宿、パリ大会期間中の選手アシストのための派遣など成果をあげるために準備を進め、その結果、メダリスト5人、金3、銀3、銅4、計10個のメダル獲得に至った。また、シンガポール2025世界選手権に

向けての準備としての合宿、メダルポテンシャルスポーツ育成のための持続可能なシステム構築支援事業による選抜3選手をターゲットアスリートと指定し強化育成に努めた。

次世代育成指定選手においては、合宿6回など開催、8期のJ-STAR選手の合宿、各地域レベルでのジュニアキャンプ6回などを実施し、継続性のある日本版パスウェイであるFTEMに沿った「育成・強化システム」を作り上げ、一貫性のある事業を展開し着実にシステムの体系化を進めた。

「2. 指導者」、「3. 競技役員」養成の分野では、基礎指導者研修を神戸しあわせの村で実施、30名が参加、基礎指導員の拡大を図った。また、公認競技役員等養成講習会を福岡市で実施、29名の参加を得た。また、中級指導者の講習会をスイムピア奈良で行い6名が参加した。

これら指導者については、選手育成パスウェイに沿った形での制度の構築を進めており、その一環としてホームページに指導者等の情報ページを開設している。

また、各地域でインクルーシブな大会を開催してもらい、そのための先駆けとなる競技役員養成については、世界パラ水泳連盟の制度がITOとNTO制度に変更となることから、その情報入手に努めた。

「4. 競技大会」については、各地域連盟主催の6大会を開催。減少した会員対策の試みの一つとして実施した通信記録会についても、東北、関東、近畿・中部、九州・中四国の主催で4会場において開催、4大会の記録をまとめたマルチクラスポイントによる順位づけによる表彰を日本選手権大会において行うなど新しい試みを継続した。このマルチクラスポイント方式は世界パラ水泳連盟のワールドシリーズ順位付け方式でもあり、世界につながる方式として選手たちへの理解浸透という役割を果たしている。

初めての取り組みとして、日本初の世界パラ水泳連盟主催のワールドシリーズ富士・静岡2025大会開催の準備を進めた。

連盟主催の第41回日本パラ水泳選手権大会を11月に滋賀県草津市「インフロニア草津アクアティックセンター」で開催した。

例年3月開催の春季チャレンジレースは開催を翌年度4月とし、既存の日程で、ワールドシリーズのテストイベントを実施した。

さらに、5月には日本パラスポーツ協会との共催実施のジャパンパラ水泳競技大会を3日間開催で実施した。毎年世界パラ水泳連盟公認大会として実施している神戸市民選手権（インクルーシブ大会）は、地元パラ選手その他JPSF育成選手層を中心に参加した。

「5. 普及・発掘・会員増」については、昨年も地域連盟への助成支援を行うとともに会員減少対策を行ったが503人から483人と再び減少に転じた。コロナ禍における生活習慣の変化はこのようなところにも表れており、水泳水中運動普及へのさらなる対策が必要となっている。

「6. 組織基盤」としては、事務専門知識を持つ高齢者の安定活用や費用見直しに努めた。また、組織基盤の評価指標でもあるスポーツ団体ガバナンスコード＜中央競技団体向け＞遵守については、4年に1度の日本パラスポーツ協会の適合性審査を受審し、2件の好事例の審査所見評価を含む「適合」の審査結果を得たほか、組織の健全性に努めた。

以上の結果、税引き前の当期一般正味財産増減額は、△5,323,717円となり、昨年度から約1,800万円の悪化となった。

<主な取り組み>

## I 競技会の開催及び支援・後援事業

### 1. 地域連盟による大会を開催支援

- 2024年6月2日(日) 第34回東北身体障がい者選手権水泳競技大会  
(宮城県グランディ21)
- 2025年2月9日(日) 第38回関東身体障がい者水泳選手権大会  
(東京都江東区東京アクアティクスセンター)
- 2024年7月14日(日) 第31回中部障がい水泳選手権大会  
(愛知県口論義運動公園プール)
- 2024年6月23日(日) 第35回近畿身体障がい者水泳選手権大会  
(大阪市舞洲障がい者スポーツセンター)
- 2024年6月2日(日) 第30回中国四国身体障がい者水泳選手権大会  
(広島市中心身障害者福祉センタープール)
- 2024年6月9日(日) 第35回九州障がい者水泳選手権大会(長崎市民総合プール)

### 2. 2024 ジャパンパラ水泳競技大会の共催

2024年5月3日(金)～5日(日) 横浜国際プールで実施した。

### 3. 第41回日本パラ水泳選手権大会の開催等

2024年11月9日(土)～10日(日) 滋賀県草津市「インフロニア草津アクアティクスセンター」にて実施した。開会式は、滋賀県知事にご出席いただいた。

参加選手：身体・視覚 269名、知的 106名、聴覚 23名、計 398名

アジア記録 5、日本記録 10、大会記録 29 の記録が更新された。

また、日本選手権大会の開催地確保への取り組みを推進し、次回の第42回大会を千葉県習志野市の「千葉国際プール」で開催することに決定した。

※本事業に対してJSCからスポーツ振興基金スポーツ大会開催助成として5,607,000円の助成金を受けた。

### 4. 通信記録会の実施

2020年度からのコロナ禍による競技会参加会員減少、既存地域大会の規模縮小などの対策及び地域でのパラ水泳参加機会創出のため、継続して記録会を実施するとともに各地域の記録会を総合してマルチクラスポイント方式で全国の順位を決める通信記録会を実施。また、全国障害者スポーツ大会の予選を繋ぐモデル事業の可能性を探った。4地域、333名が参加した。

2024年7月27日(土) 2024 関東パラ水泳記録会(福島県郡山しんきん開成山プール)

選手 134名(肢体不自由 110名、視覚障がい 4名、聴覚障がい 1名、知的障がい 23名)

2024年9月16日(月・祝) チャレンジスイムフェス in KOBE(神戸市民福祉交流センタープール)

選手 100名(肢体不自由 47名、視覚障がい 4名、聴覚障がい 3名、知的障がい 46名)

2024年9月22日(日) 2024 日本パラ水泳地域等連携記録会(東北)(盛岡市立総合プール)

選手 59名(肢体不自由 24名、視覚障がい 6名、聴覚障がい 2名、知的障がい 18名、  
オープン参加 9名)

2024年10月20日(日) 2024 九州パラ水泳短水路公認記録会(大分市営温水プール)

選手 40名(肢体不自由 15名、聴覚障がい 1名、知的障がい 24名)

※本事業に対して公益財団法人日本パラスポーツ協会から地域におけるパラスポーツの振興事業活動として「日本パラ水泳地域等記録会連携型通信総合記録会委託料」1,900,000円を受けた。

## II 競技力向上事業

### (1) 日本代表選手等合宿

①パリ 2024 日本代表選手合宿①（選手 17 人、スタッフ 26 人）

2024 年 4 月 26 日（金）～5 月 5 日（日）ナショナルトレーニングセンター・イースト

②パリ 2024 日本代表選手合宿②（選手 3 人、スタッフ 5 人）

2024 年 6 月 11 日（火）～6 月 27 日（木）ナショナルトレーニングセンター・イースト

③パリ 2024 日本代表選手合宿③（選手 17 人、スタッフ 22 人）

2024 年 7 月 12 日（金）～7 月 14 日（日）横浜国際プール

④パリ 2024 日本代表選手合宿④（選手 5 人、スタッフ 5 人）

2024 年 7 月 25 日（木）～8 月 3 日（金）ナショナルトレーニングセンター・イースト

⑤パリ 2024 日本代表選手合宿⑤（選手 17 人、スタッフ 19 人、その他 1 人）

2024 年 8 月 9 日（金）～8 月 25 日（日）フランス/アミアン.Coliseum

⑥パリ 2024 日本代表選手村外支援（スタッフ 8 人）

2024 年 8 月 23 日（金）～9 月 9 日（月）フランス/La Defense Arena

### (2) 強化指定選手合宿

①強化指定選手合宿（選手 16 人、スタッフ 12 人、その他 5 人）

2024 年 12 月 20 日（土）～12 月 23 日（火）ナショナルトレーニングセンター・ウエスト

②強化指定選手合宿（選手 26 人、スタッフ 17 人、その他 5 人）

2025 年 3 月 8 日（土）～3 月 9 日（日）富士水泳場、フジスパークホテル

### (3) 育成指定選手事業（次世代アスリート育成強化事業）

①育成選手合宿①（選手 12 人、スタッフ 10 人、その他 6 人）

2024 年 4 月 12 日（金）～4 月 14 日（日）スイムピア奈良

②育成選手合宿②（選手 13 人、スタッフ 6 人）

2024 年 5 月 31 日（金）～6 月 2 日（日）神戸ポートアイランドスポーツセンター

③育成選手合宿③（選手 11 人、スタッフ 7 人）

2024 年 7 月 26 日（金）～7 月 28 日（日）福井県営プール

④育成選手合宿④（選手 13 人、スタッフ 10 人、その他 2 人）

2024 年 9 月 21 日（土）～9 月 23 日（月）ナショナルトレーニングセンター・イースト

⑤育成選手合宿⑤（選手 11 人、スタッフ 3 人）日本スイミングクラブ全国ブロック大会

2024 年 10 月 11 日（金）～10 月 13 日（日）山口県きらら博記念公園水泳プール

⑥育成選手合宿⑥（選手 12 人、スタッフ 1 人）

2024 年 12 月 21 日（土）～12 月 22 日（日）ナショナルトレーニングセンター・ウエスト

### (4) 発掘選手

○発掘キャンプ

公益財団法人ゴールドウイン西田東作スポーツ振興記念財団の「障がい者スポーツ支援事業」の助成を受け、パラ水泳の普及・振興及び競技力の向上を図るため「ジュニアトレーニングキ

キャンプ事業」として、東・西・南の各エリアに所属する発掘選手等を対象に、エリアごとのトレーニングキャンプと、各エリアの選手を一同に集めて行う中央キャンプを、下記の日程で実施した。

- ・南エリアキャンプ（選手 9 名、スタッフ 6 名）  
2024 年 6 月 22 日（土）～23 日（日） 鹿児島県障害者自立交流センター
- ・中央キャンプ（選手 12 名、スタッフ 11 名）  
2024 年 7 月 20 日（土）～21 日（日） スイムピア奈良
- ・西エリアキャンプ
  - ① 第 1 回西エリア（選手 12 名、スタッフ 9 名）  
2024 年 9 月 14 日（土） スイムピア奈良
  - ② 第 2 回西エリア（選手 8 名、スタッフ 9 名）  
2024 年 11 月 23 日（土） スイムピア奈良
- ・東エリアキャンプ
  - ① 第 1 回東エリア（選手 17 名、スタッフ 15 名）  
2024 年 9 月 15 日（日） 川越総合福祉センター「オアシス」
  - ② 第 2 回東エリア（選手 14 名、スタッフ 11 名）  
2025 年 2 月 2 日（日） 多摩障害者スポーツセンター

#### ○ジュニアトライアルキャンプ

障がいのある泳げない子どもや水泳を始めたばかりの初心者に対し、水遊びやボール遊びを通じて、水泳を始めるきっかけをつくり、将来の有望選手が育つことを期待する事業を実施した。

2024 年 12 月 7 日(土) スイムピア奈良 参加選手 2 名、保護者 3 名、スタッフ 1 名

#### ○奈良県・関西広域連合受託事業

昨年同様、奈良県から委託を受けた奈良県スポーツ協会と関西広域連合の両者から委託を受け、関西地域の障がい者スポーツの振興を図ることを目的に、競技人口が少なく育成が難しいアスリート向けの練習会と指導者養成のための研修会を実施した。

<パラリンピックタレント発掘・育成事業（水泳競技）> 奈良県スポーツ協会受託

<関西広域連合障害者スポーツアスリート育成練習会> 関西広域連合受託

2025 年 2 月 8 日（土） スイムピア奈良 選手参加 5 名、指導者参加 3 名

#### ○その他他団体との連携による大会参加、普及、啓発

- ① 2024 神戸市民選手権大会（WPS 公認）神戸ポートアイランドスポーツセンタープール  
2024 年 6 月 1 日～2 日（日） 強化指定・育成選手等参加
- ② 第 3 回インクルーシブ水泳競技大会（記録の公認）  
2024 年 6 月 14 日～15 日（日）横浜国際プール 育成選手、J-STAR、発掘選手参加
- ③ 2024 年第 45 回 J S C A ブロック対抗水泳競技大会（記録の公認）  
2024 年 10 月 13 日～14 日（日）山口県きらら博記念公園 育成選手等参加

#### (5) 海外大会等への派遣

##### ア 連盟派遣

- ① 2024 アメリカ WPS ワールドシリーズ大会派遣（選手 2 人、スタッフ 3 人）

2024年4月7日(日)～4月15日(月) アメリカ・インディアナポリス

② 2024 シンガポール WPS ワールドシリーズ大会派遣 (選手 17 人、スタッフ 15 人)

2024年5月14日(火)～5月19日(日) シンガポール OCBC Aquatic Centre

(6) 大会等サポート (体制整備事業)

ア 大会サポート・視察

① 2024 ジャパンパラ水泳大会選手視察・レース分析等サポート

2024年5月2日(木)～5月5日(日) 横浜国際プール

② 日本知的障害者水泳大会におけるパリ日本代表選手サポート・視察

2024年6月30日(日) 横浜国際プール

③ 第41回日本パラ水泳選手権大会強化・育成指定選手サポート・視察・レース分析等

2024年11月8日(金)～11月10日(日) インフロニア草津アクアティクスセンター

④ 2024 スペイン WPS 世界選手権大会視察 (選手現地1人、スタッフ1人)

2024年3月17日(月)～3月25日(火) スペイン バルセロナ

イ 会議、研修等サポート

① 強化会議① 2024年10月26日、スタッフ26人 アスリートビレッジ

② JPC 会議① 2024年10月25日～26日 スタッフ2人

ナショナルトレーニングセンター・イースト

③ JPC 会議② 2025年1月26日～26日

スタッフ3人 ナショナルトレーニングセンター・イースト

④ 強化会議② (0125) 2025年1月24日～26日、スタッフ7人

ナショナルトレーニングセンター・ウエスト

⑤ JPC ユースアスリート研修 2025年2月8日～9日

ユース選手6人、スタッフ2人 ナショナルトレーニングセンター・イースト

⑥ JPC Gathering 2025年2月27日～28日

スタッフ3人 ナショナルトレーニングセンター・ウエスト

(7) 強化活動のDX化促進支援事業

強化育成指定選手のオンラインによる競技力向上指導

2024年4月3日(水)～8月5日(月)

(8) 強化指定選手制度・育成指定選手制度の運用

この制度は暦年で指定を行っている。

強化指定選手17人、育成指定選手13人、アジア大会特別強化3人、合計33人を指定

(2025年1月1日現在)

WPSライセンス登録者数55人(2025年3月31日現在)

強化選手—2025年1月25日(土)強化指定、所属関係者、

Zoom(オンライン)による説明会・研修会の実施、2025強化選手事業計画について、NTCの利用、アンチ・ドーピング、自己競技力向上プランなど

育成選手—2025年1月26日(日)育成指定、所属関係者

Zoom(オンライン)による説明会・研修会の実施、育成選手制度の説明、育成選手事業計画、トレーニングシート、自己競技力向上プランなど

※上記（発掘事業・J-STAR 除く。）に対し、J S Cの競技力向上事業に対して、52,314,000円（うち、育成選手事業に3,018,000円、体制整備事業に5,831,000円、強化活動のDX化促進支援事業に50,000円）の助成金を受けた。

(9) 課題解決型アスリート育成パスウェイ構築支援プログラム「メダルポテンシャルスポーツ育成のための持続可能なシステム構築支援」

J S C事業として採択され、指導者のコーチングスキルの向上、育成環境の整備を目的とし、2028年のロサンゼルスパラリンピックにおいてMPA（メダルポテンシャルアスリート）を目標とする若年層3選手をターゲットアスリートと指定し強化育成に努めた。

- ① アスリート育成パスウェイサポートページの活用
- ② 障害タイプ別指導教本制作
- ③ 所属訪問及びユニットミーティングの実施
- ④ Talent 連携合宿

■海外

2024年12月8日（日）～21日（土） オーストラリア（クイーンズランド）

■国内

2025年2月17日（月）～24日（日） ナショナルトレーニングセンター・イースト

【目的】競技力向上とコーチングスキルの向上を目指し、昨年引き続きパラリンピックメダリストを輩出しているオーストラリアチームと合同合宿を行った。そこで行われているトレーニングやコーチングを学び、所属に持ち帰って実践してもらうことを目的とした。また、昨年と同じで栄養指導も引き続き行い、選手たちには食材選びから調理まで管理栄養士指導の下全て行ってもらった。昨年と違う取り組みとしてパラリンピック金メダリストの鈴木孝幸選手に育成アドバイザーとして参加していただき、練習に対する取り組みや日常生活の過ごし方などを指導してもらった。

国内合宿では世界で活躍しているイタリア代表のシモーネ・バルラム選手を招聘し、合同合宿を行った。競技力が高いだけでなく素晴らしい人間性を持ち合わせており、若手選手が目指すべき選手像そのものであった。選手・スタッフともに大変学びの多い合宿となった。

- ⑤ 成果報告会
- ⑥ 事業主要スタッフ同士の定期会議及びアドバイザーを含めた推進会議の実施
- ⑦ コーチ連携研修会

※上記（9）の事業に対し、独立行政法人日本スポーツ振興センターの事業として、24,258,000円の助成金を受けた。

### III 指導者研修会等の開催と普及

1. 日本財団パラスポーツサポートセンター助成事業

- 「2024年度JPSF公認競技役員等養成講習会」

2024年12月21日から12月22日

福岡市立障がい者スポーツセンター（さん・さんプラザ）にて実施 受講者29名

- 「JPSF公認障がい者水泳指導員資格修得講習会初級STEP1・STEP2」

2025年1月18日から1月19日

神戸市しあわせの村にて実施 受講者30名

2. JPC 国庫補助金競技別指導者講習会委託事業

「JPSF水泳連盟公認障がい者水泳指導員資格修得講習会中級」

2024年11月16日まほろば健康パークスイムピア奈良にて実施

受講者6名

### 3. 連盟単独事業

「公認競技役員中級取得実務研修」

2024年11月8日～10日

インフロニア草津（第41回日本パラ水泳選手権大会）にて実施 受講者2名

中級取得2名

### 3. 受講後の指導者登録状況（登録有効期限2025年4月1日から2029年3月31日）

初級 新規25名、更新10名

中級 新規4名

## IV 法人運営事業

### 1. ホームページの充実・SNSなどを使った広報事業など

・ホームページにおいては、会員に対するお知らせの他、日本代表のページ、連盟運営の組織体制、お問い合わせの多い項目など見ていただくだけで理解される情報、選手の記録データベースの充実や関連団体へのリンクなど充実に努めている。また、日本代表関連などSNSによる発信に努め、パラ水泳の支援者を増やす努力を行った。

・インターネットの普及で大会ライブ配信が定着し、滋賀草津大会など地方開催で来場応援が叶わない場所にも対応。第41回日本パラ水泳選手権大会では、現役選手による競技解説を全競技のユーチューブ配信などで行い、パラ選手の魅力を発信した。

### 2. 組織体制の強化・充実

スポンサー協賛企業9社

オフィシャルパートナー	(株)フジタ、(株)ゴールドウイン あいおいニッセイ同和損害保険(株)、味の素(株)
オフィシャルスポンサー	NTTファイナンス(株)
オフィシャルサポーター	三菱商事(株)、タキロンマテックス(株) ヤマハ発動機(株)、(株)グロリアツアーズ

ガバナンスコードへの対応構築を推進

#### (1) 2025年3月31日現在、競技会参加会員数

女子169人、男子314人、合計483人

#### (2) 技術支援会員

2025年3月31日現在、女子57人、男子84人、合計141人が登録

#### (3) 正会員 8名

#### (4) 役員(2025年3月31日現在)

理事16名(うち理事長1名、常務理事4名)

#### (5) 事務局(2025年3月31日現在)

本部事務所(委託含む) 4名

東京事務所(委託含む) 4名

#### (6) 日本財団パラスポーツサポートセンター事業

人的支援、組織運営・管理基盤整備のガバナンス強化、広報マーケティング事業等に、13,980,000円の助成を受けた。

また、今年度は「T.E.A.M チャレンジ事業」として7,310,000円の助成を受け、新たに「パラスポーツマネージメントシステム」を構築して、従来の会員等管理システムの連動

やクラウド化などの刷新を行った。

### 3. 総会・理事会・委員会等

#### (1) 第1回理事会

2024年6月22日(土) 神戸・三宮研修センター会議室

##### <決議事項>

- 第1号議案 2023年度事業報告について
- 第2号議案 2023年度決算報告について
- 第3号議案 個人情報保護についての取り扱い基本方針の一部改正について
- 第4号議案 人材育成基本方針の策定について
- 第5号議案 正会員の入会に関する承認について
- 第6号議案 2024年度定時総会の招集について

##### <報告事項>

- (1) 2024年度事業計画及び予算の進捗状況について
  - ア. 総括説明
  - イ. WPSワールドシリーズの日本開催について
- (2) 代表理事及び業務執行理事による職務執行状況の報告について

#### (2) 定時総会

2024年6月30日(日) 当連盟神戸本部事務所

##### <決議事項>

- 第1号議案 2023年度事業報告及び決算報告について

#### (3) 第2回理事会

2025年2月15日(土) 神戸・三宮研修センター

##### <決議事項>

- 第1号議案 2024年度収支補正予算案
- 第2号議案 2025年度事業計画案
- 第3号議案 2025年度収支予算案
- 第4号議案 規程の一部改正について
  - (1) 役員候補者選考規程
  - (2) 国際パラリンピック委員会ライセンス登録国内手続き規程
  - (3) ユース等育成選手規程

- 第5号議案 定款の一部変更について
- 第6号議案 役員候補者選考委員会委員の選任(変更)について
- 第7号議案 2024年度臨時総会の招集について

##### <報告事項>

- 報告1 パリ2024パラリンピック水泳競技の結果と強化戦略プラン評価
- 報告2 WPSワールドシリーズ富士・静岡2025・2026開催の進捗状況について
- 報告3 2024年度事業の進捗状況報告(2025年1月まで)について
  - ① 会員の状況(競技会参加会員、技術支援会員)
  - ② 2025年強化・育成指定選手の状況
  - ③ 地域大会の開催状況(記録会含む)
  - ④ JPC事業関連
    - ア ジャパンパラ水泳競技大会

- ⑤ J P C助成・委託事業
  - ア 競技力向上事業（選手強化活動等）
  - イ ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト（J-STAR）8期事業
  - ウ 地域におけるパラスポーツ振興事業（通信記録会）
  - エ 第41回日本パラ水泳選手権大会時のクラス分け実施
  - オ 障がい者水泳指導員資格修得講習会（中級）
- ⑥ J S C助成・委託事業
  - ア 第41回日本パラ水泳選手権大会
  - イ アスリート育成パスウェイの構築支援事業
- ⑦ 日本財団パラスポーツサポートセンター事業

報告4 2025年2～3月の事業見通しについて

W P Sワールドシリーズ富士・静岡テストイベント

報告5 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告について

報告6 令和7年度J P Cナショナルコーチ・スタッフ等設置要項による推薦について

報告7 2025年度の日程の概要について

#### (5) 臨時総会

2025年3月2日（日） 本連盟神戸本部事務所

##### <報告事項>

報告1 2024年度収支補正予算

報告2 2025年度事業計画

報告3 2025年度収支予算

##### <決議事項>

第1号議案 定款の一部変更について

#### 4. 運営委員会

2024年4月9日（火）

2024年5月14日（火）

2024年6月11日（水）

2024年7月9日（火）

2024年8月13日（火）

2024年9月10日（火）

2024年10月8日（火）

2024年11月12日（火）

2024年12月10日（火）

2025年1月14日（火）

2025年2月4日（火）

2025年3月11日（火）

#### 5. 各種委員会

2024年4月4日（木）

総務コンプライアンス委員会

2024年4月16日（火）

パリ2024パラリンピック日本代表役員推薦選考委員会

2024年4月23日（火）

アスリート委員会

2024年5月2日（木）

パリ水泳日本代表推薦選手選考委員会

2024年5月5日(日)	パリ水泳日本代表推薦役員選考委員会
2024年6月4日(火)	アスリート委員会
2024年6月19日(水)	パリ 2024 パラリンピック日本代表役員推薦選考委員会
2024年7月18日(木)	アンチ・ドーピング委員会
2024年8月6日(火)	アスリート委員会
2024年10月8日(火)	総務コンプライアンス委員会
2024年10月8日(火)	アスリート委員会
2024年12月13日(金)	アンチ・ドーピング委員会
2024年12月17日(火)	女性アスリート等支援委員会
2025年1月21日(日)	アスリート委員会
2025年2月4日(火)	令和7年度JPC選任スタッフ選考委員会
2025年3月11日(火)	アスリート委員会